

■殺菌剤：農業用

有機硫黄系・シアノアセトアミド系

カーゼート[®]PZ水和剤

成分 シモキサニル……12.0%
マンゼブ……65.0%

物理的・化学的性状 淡黄色水和性粉末45 μ m以下

登録番号：22434

毒性：—

消防法：—

有効年限：5年

包装：500g×20

◆特長

- 本剤は、保護殺菌剤として定評のあるマンゼブと治療効果を有するシモキサニルを配合し、べと病・疫病に対し予防と治療の両方の効果を示します。
- シモキサニルは浸透性に優れ、菌糸感染後から病徴発現まで使用することにより優れた治療効果を発揮します。
- シモキサニルは、フェニルアמיד剤耐性菌に対しても、感受性菌と同様の安定した効果を示します。

◆適用と使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	シモキサニル を含む農薬の 総使用回数	マンゼブ を含む農薬の 総使用回数
ばれいしょ	疫病	600～ 800倍	100～300 ℓ ／10a	収穫7日 前まで	4回 以内	散布	4回以内	10回以内 (無人ヘリ散布 は3回以内)
トマト		1,000～ 1,500倍		収穫前日 まで	2回 以内			2回以内
きゅうり	べと病	1,500倍	150～300 ℓ ／10a	収穫7日 前まで	3回 以内		3回以内	
すいか	褐色腐敗病 つる枯病						1,000倍	7回以内
メロン	べと病	1,000～ 1,500倍	100～400 ℓ ／10a	収穫30日 前まで	1回		5回以内	1回
はくさい							1,000倍	100～300 ℓ ／10a
たまねぎ	べと病 白色疫病	1,000倍	100～300 ℓ ／10a	収穫30日 前まで	3回 以内		3回以内	3回以内
らっきょう	白色疫病	600～ 800倍	100～200 ℓ ／10a	収穫45日 前まで				
だいず	べと病	1,000倍	100～300 ℓ ／10a	収穫45日 前まで	2回 以内		2回以内	
ぶどう		1,000～ 1,500倍						200～700 ℓ ／10a

ラベルをよく読み、ラベルの記載以外には使用しないで下さい。

◆注意事項

- (1)使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- (2)石灰硫黄合剤、ボルドー液との混用は避けること。

- (3) ボルドー液との7日以内の近接散布は葉害を生ずるおそれがあるので避けること。
- (4) 極端な高温多湿条件下では、軟弱幼苗に葉害のおそれがあるので注意すること。
- (5) はくさいに使用する場合、黄芯系などの葉肉の柔らかい品種には葉害を生じる場合があるので注意すること。特に大福系品種には葉害を生じるので使用を避けること。
- (6) 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせて調節すること。
- (7) 散布液調製後はできるだけ速やかに散布すること。
- (8) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- (9) 薬液タンクの洗浄廃液は放置せず、速やかに安全な場所に処理すること。
- (10) 取扱及び保管上の注意、漏出時の措置、廃棄上の注意、輸送上の注意、火災時の措置については、11ページ、12ページを参照すること。

◆安全使用上の注意

- (1) 粉末は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- (2) 粉末は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- (3) 散布の際は農業用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用すること。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換すること。
- (4) 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- (5) かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触を避けること。
- (6) 夏期高温時の使用を避けること。

◆魚毒性

使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使い切ることを。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。